

競技注意事項

1. 本競技会は、2021年度(公財)日本陸上競技連盟規則及び本競技注意事項により実施する。

2. プログラムについて

- ① 当日競技者受付にてプログラムを配布する。
- ② プログラムに記載ミス(氏名、フリガナ、学年、所属等)があった場合は、8時45分または遅くとも出場する競技の90分前までに大会本部に申し出ること。記録確定以後の訂正(記録証の訂正を含む)には、一切応じない。尚、プログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用している。
- ③ プログラムは、残部がある場合に限り販売する。(1部500円)

3. 招集について

- ① 招集所は、100mスタート地点付近(Aゲート付近)に設ける。
- ② 招集開始、完了時刻は、プログラム記載の競技開始時刻を基準として以下の通り。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技 ※100mは組数が多いためタイムテーブル参照。	40分前	30分前
跳躍競技	60分前	50分前
投てき競技	40分前	30分前

- ③ 招集開始時刻から招集完了時刻の間に競技者本人(代理人による招集は認めない)が招集所に来ること。この招集時にアスリートビブスおよび競技に使用する靴の最終確認をするので、競技者はアスリートビブスを付けたユニフォームを着用し、競技に使用する靴を持参の上、集合のこと。招集終了後、競技者は各自でスタート地点または競技場所へ移動のこと。
- ④ リレー競技に出場するチームは、オーダー用紙を招集所で受け取り、招集完了時刻の60分前までに提出のこと。

4. アスリートビブス(ナンバーカード)等について

- ① アスリートビブスは主催者が用意する。胸と背中に2枚着用のこと。跳躍競技者は胸または背中のどちらか一方でもかまわない。
- ② トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識(粘着シールタイプ)を招集所で配布するので、パンツの右側の上部、やや後ろに付けること。アスリートビブスともに返却の必要はない。

5. 競技について

- ① 今年度の規則の修改正点について、とくに注意すること。
- ② 競技場は全天候舗装である。スパイクについては競技規則 TR5 を参照のこと。なお、靴底の厚さは、TR5 に準じること。使用された靴に関して審判長が疑義を抱いた場合、競技終了後、使用した靴の提出を求められることがある。
- ③ 不正スタートは1回目以降の者に対してすべて失格する。スタートの発声は英語で行う。なお、規則 TR16.5.1~3 の不適切行為は注意にとどめる。ただし、繰り返し行う場合は、イエローカードを示し、警告を与える。累積2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とする。
- ④ レーンを使用する競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- ⑤ リレーのスタート用マークは各チームで用意し、レース終了後も必ず各チームで外すこと。

- ⑥ 競技に使用する用器具は、すべて競技場備え付けのものを使用する。
- ⑦ 走高跳の最初のバーの高さは、出場する競技者との協議によりフィールド審判長が決定する。
- ⑧ 砲丸の重さは以下の通り。
一般男子 — 7.260 kg、高校男子 — 6.000 kg、中学男子 — 5.000 kg、高校・一般女子 — 4.000 kg、中学女子 — 2.721 kg

6. ウォーミングアップについて

- ① ウォーミングアップ場(バックストレート)は競技者のみの入場で、付き添い、指導者、引率者などは入ることはできない。競技者に指示する場合は、バックスタンドから行うこと。
- ② 練習はすべて競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技運営上練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。なお、周回レースが行われていない時間帯については、バックストレートを開放する。

7. 新型コロナウイルス感染症防止対策に関する取り組みについて

- ① 本大会は無観客で開催する。競技者、顧問・指導者・引率者以外の入場は認めない。また3つの密(密閉・密集・密接)を避け、運動時以外、会場内ではマスクを着用すること。
- ② 競技者、顧問・指導者・引率者は、入場時に当日を含めた8日間の検温を実施した「体調管理チェックシート」を提示し、許可印を受けること。チェックシートが提示されない場合は入場・大会への出場ができない。当日37℃以上の発熱があったり体調不良の方も入場できない。入退場ゲートはメインスタンド正面入口のみとする。なお、「体調管理チェックシート」は日本陸連もしくは東京陸協ホームページよりダウンロードし、作成のこと。
- ③ 監督・顧問・代表者は本部受付において、アスリートビブス・プログラム等を受け取り、競技者の健康管理の状況を 確認したサインをすること。
- ④ 「体調管理チェックシート」は会場内では常に各自で携帯し、再入場する際に提示すること。なお、顧問・監督は競技者の「体調管理チェックシート」を回収し、大会後2週間は保管しておくこと。
- ⑤ 競技者の動線はAゲート(100mスタート後方・招集所)から入場し、Bゲート(フィニッシュ地点)から退場する一方通行とする。グラウンド内に入れるのは競技者のみとする。
- ⑥ 競技者は競技のウォーミングアップ開始に合わせて来場し、競技終了後速やかに帰宅すること。
- ⑦ 競技者は招集の際はマスクを着用し、ウォーミングアップでは競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ⑧ 飛沫拡散を防ぐため、応援や大声・近距離での会話を避けること。
- ⑨ スタンドでの飲食は許可するが、ベンチでは少なくとも1つ以上間隔を空けて着席すること。
- ⑩ 競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行うこと。
- ⑪ タオル、ペットボトル、コップ、袋等の共用を控え、個人用を用意すること。
- ⑫ ゴミは各自必ず持ち帰ること。(競技場及びその周辺、駅などに捨てていかないこと。)

8. その他

- ① 競技中の事故については、主催者で応急処置はするが以後の責任は負わない。
- ② 盗難防止のため、貴重品は各自で保管し、また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意のこと。
- ③ 競技中の助言・指導はスタンドからのみ行うことができる。
- ④ 記録証は1部300円で発行する。希望者は当日16:00までに大会本部庶務係まで申し出ること。
- ⑤ その他不明点などあった場合は、大会本部へ照会のこと。